

身近な地質スポット

愛知県豊田市／猿投山－球状花崗岩(菊石)

今回は、国指定天然記念物（S6. 2. 20指定）である猿投山の球状花崗岩（菊石）を紹介します。

球状花崗岩とは、花崗岩の中に多数の球状、楕円状の塊が存在するもので、国内では愛知県猿投山、三重県美杉村、茨城県峰寺山、下伊那郡毛無山などで産出される、極めて珍しい花崗岩です。

結晶の模様が花の菊に似ていることから菊石と称されています。根尾などで産出される菊花石とは母岩も形成過程も違います。

球状体は、花崗岩マグマが貫入した際に、周りの堆積岩の岩片を捕獲し、これを核として球体を形成したと考えられています。球体1つの大きさは4～8cm程度で密集して観察されることが多いが、決して球体同士が結合しておらず、単独で球体をなしています。

愛知県豊田市加納町に流れる広沢川沿いに「菊石・猿投七滝遊歩道」があり、球状花崗岩を観察できます。残念ながら天然記念物であるため、ルーペをあてることも、触れることもできません。

遊歩道は昭和48年に整備されたもののようですが、現在もきちんと管理されており、入口にトイレがあり、谷底に設けられた歩道は舗装され歩きやすく、斜面の岩盤には落石防止対策が施されています。

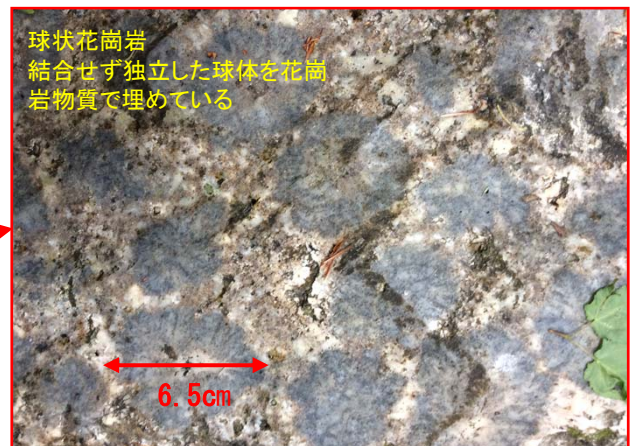
また、広沢川は猿投山を源流とする小河川であり、水が綺麗で、すがすがしい気分を味わえます。

球状花崗岩－西の宮－東の宮－猿投神社を巡るコースは、所々に休憩所もあり、夏のプチ登山には最適な場所ではないでしょうか。（なにより涼しい！、熊も出没するので、鈴やラジオをお忘れなく。）

散策途中では、花崗岩の様々な露岩状況、滝、樹木など観察でき、自然の雄大さ、多様性、人間が成せる限界などを感じられるスポットが盛りだくさんです。



河床に密集する球状花崗岩



球状花崗岩
結合せず独立した球体を花崗
岩物質で埋めている

6.5cm

写真-1 広沢川の河床にハッキリと表れる球状花崗岩



花崗岩露頭(浮き石)



花崗岩露頭(オーバーハング)

写真-2 遊歩道、散策路で観察できるいろいろ

余談ですが、

この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。

かど屋



道路から見える大きな看板が目印
大駐車場の奥に小さな店
新しい店構えに期待膨らむ

かど屋 愛知県豊田市伊保町下川原92-1
営業時間: 11:30~14:00、18:00~2:00

鯛の出汁を使ったあっさりしたラーメンが売りのようです。
鯛、鯛塩、とんこつ、和風の4種類からベースを選び、ネギ、肉の量をお好みで。
ランチタイムはご飯物がお得になります。



鯛ラーメン(大盛)



あっさりだが、コクがあり、一口目で鯛の香りが口中に広がります。
焦がしネギ、ゆずが効いていて食べやすいです。
ご忠告! 思いのほか熱いです。